



申○号 「車両関係社員新入社員基礎技術教育の実施方法について」 1月28日開催 に関する説明申し入れ 団体交渉を行う! その1

1. 本施策の提案に至った目的と問題意識を明らかにすること。

【回答】社内外の環境の変化により柔軟に対応するために、総合車両センターごとの教育実施ではなく、一部の総合車両センター等に集約し、指導内容の標準化を目指した教育内容や教育箇所の見直し等も含めて、今後も必要な見直しを柔軟に行い、教育効果を高めていく考えである。

【交渉で明らかになった会社の考え方（要旨）】

- ・社内外の環境の変化とは、社内では車両の多くが新系列に置き変わっていることや組織再編が進んでいること。社外では優秀な社員を確保するため入社タイミングが多様化していること。
- ・指導内容の標準化は、教える項目は変わらないが、項目毎の到達点を標準化し、どのレベルまで到達させるか指導内容を決めていく。
- ・新入社員基礎技術教育で机上は、知識・車両の仕組み・各装置について教えている。
- ・技能面では、基礎的なものは変わらず、使わないような技術を縮小していく。
- ・指導内容は、その都度振り返り等を行い、改善すべきところは改善していくために柔軟に対応するとした。
- ・毎年内容が変わると想定していない、ベースを置きつつ、手段や方法が変化していく。
- ・新入社員は経験者採用も含め、当社に初めて入社する社員のこと。
- ・教育の到達点は教育担当者間で調整中であり、知識については知悉度で行っていく。

2. これまでの車両関係社員新入社員基礎技術教育の成果と課題を明らかにすること。

【回答】基礎技術教育において、車両メンテナンスの技術・技能を習得し、車両関係業務の様々なフィールドで活躍するために基盤を構築してきたところである。

社内外の環境の変化により柔軟に対応するために、指導内容の標準化を目指した教育内容や教育箇所の見直し等も含めて、今後も必要な見直しを柔軟に行い、教育効果を高めていく考えである。

【交渉で明らかになった会社の考え方（要旨）】

- ・成果は回答の通りで、新しい車両や新しい技術が入って、新入社員の多様化により広い業界から入ってきている中で基礎技術教育について見直していかないといけないというのが課題。
- ・基礎技術の期間は短くても、中身を含めて到達点を定めていくので問題ない。
- ・安全は今まで通り変わることはない。
- ・教えないといけない内容を明確化し、中身を精査したことで、今までよりも内容は濃くなる。
- ・都度見直すことにより、現場の意見を反映しやすくなる。
- ・見直す内容は、教育に使用する資料や教え方などの教育担当者間や新入社員の意見など様々ある。
- ・教える側としては、教育する資料と1つの箇所に集約して、教える方が良いという声があった。
- ・今後の新入社員の規模が変化すれば、箇所についても見直す可能性はあるが、現在の人数であれば大宮総合車両センターと郡山総合車両センターに集約して、教育することに問題ない。
- ・他系統から異動してきた社員についても、安全を前提に各箇所で必要な教育を行っていく。